

■赤崎地区③（合足）

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	1. 3/11 時の津波（今次津波）の浸水深 【浸水結果】	2. 防潮堤のみ整備の場合の津波シミュレーション (既往最大津波(東日本大震災津波)の場合)
図面	<p>浸水深</p> <ul style="list-style-type: none"> 1m未満 1~2m 2~3m 3~4m 4~5m 5~6m 6~7m 7~8m 8~9m 9~10m 10~11m 11~12m 12~13m 13~14m 14~15m 15m以上 <p>※100m メッシュ</p>	<p>浸水深 0m</p> <p>※10m メッシュ (防潮堤 T.P. +14.1m)</p>
考察	<p>・防潮堤（T.P.+14.1m）の整備により、背後の浸水を防ぐことができる。</p>	

———：防潮堤の位置（シミュレーション上の想定）